

旅の始まり&旅の終わり

— ツーリストインフォメーションセンターを中心に新しいパブリックスペースとオープンスペースの提案 —

201013023 HUANG QIONG YI

都市計画専攻 指導教員：渡辺 俊 教授

1. 背景

かつての上海は黄浦江沿いのバンドに建つ様式主義とアールデコ、そして、その後ろに広がるリロンと呼ばれる低層集合住宅群が都市の景観を形成していた。超高層が林立する風景へと変貌したのは1990年代に入ってからのことである。黄浦江西側の市街地の手前にバンドの様式建築やアールデコなど依然と並んでいるが、その後ろにある街並みの街区が次々と超高層ビルに置き換わってゆく。

2. 問題意識と目的

2.1 上海の都市計画に対する問題意識

上海の歴史建築保存地区において、バンド沿いの様式建築だけが歴史建築と指定された。その代わりに、バンドエリアおよび周辺において、リロンのような上海を代表する建築がどんどん取り壊されてきて、昔のボリュームとはるかに違う建築が出現した。特に歴史建築保存地区の近隣敷地において、超高層ビルへの置き換えが激しい。

2.2 失われつつある都市風景に対する問題意識

超高層ビルに置き換わってきながら、上海でもう見られなくなる風景がある。かつて、上海には市場や屋台が多くあって、車や自転車と共存し、街中に休憩できる都市のノッドとして機能した。また、市場だけでなく、プラザ文化も盛んでいた。特にヒューマンスケールのリロン住宅の隙間を介してたくさんのアクティビティが生まれた。しかし、それらの風景は決して高層ビルの下に生まれるものではない。

2.3 目的

以上、上海の歴史保存地区において現在のメガブロックの再開発と違う方法が必要と感じた。昔の街並みのボリュームと調和し、いろいろな都市のアクティビティを誘発できるような空間を提案したいと思う。

3. 敷地

敷地南側の大通りは西側にある南京路歩行者天国の延長である。歩行者天国の終点となったこの敷地は東側のバンドへと向かう起点にもなっている。上海の名所を訪れる観光客にとって、まさに旅の途中で必ず通る敷地である。また、地下鉄2号線と10号線の駅が敷地の真下にあって、文化だけでなく、交通の結節点でもある。現在、敷地には新たなショッピングモールを建設している。



図1 上海の位置図



図2 敷地周辺模型 1:1000

4. 提案

4.1 設計趣旨「旅の始まり&旅の終わり」

敷地は上海を訪れる観光客にとって必ず通ることから、一日の旅を始め、また、観光後再び戻ってこれるような場所になってほしい。また、観光者だけでなく、周辺住民の日ごとのアクティビティを誘発できるようなオープンスペース（朝市、屋台、広場、運動スペース、公園、庭、展示場）を提案する。

4.2 設計コンセプト

① ヒューマンスケールとメガスケールをつなぐ

敷地が超高層ビルとヒューマンスケールの建物の間にあることは今回の一番の課題となった。超高層をネガティブなものとして見なすより、超高層から風景を楽しむような建築、また、ヒューマンスケールの建物と溶け合う建築を提案することで、二極の風景をつなげていこうと考えている。

② 建築とオープンスペースをつなぐ

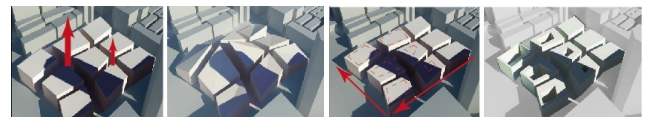


図4 コンセプト②

図3 コンセプト①

4.3 設計プロセス

まず、敷地をいくつかの小さいブロックに分けて、リロンと同じように、建築と同等な重みを持つ道をつくる。次に、リロンのもう一つの要素である中庭を取り入れて、風通しの良く明るい空間をつくる。また、建築からオープンスペースへと転換していくにつれて、中庭が大きくなる。その結果、建築がオープンスペースになったり、間にある道がそれぞれの建物をつなぐ建築となる。その後、敷地の右側にヒューマンスケールのゲストハウスが配置し、左側にいくほど徐々にインフォメーションセンター、駅、ステージ、展示といったメガスケールなプログラムに変化させてゆく。最後に、緑の道をつくり、敷地全体をつなげる。

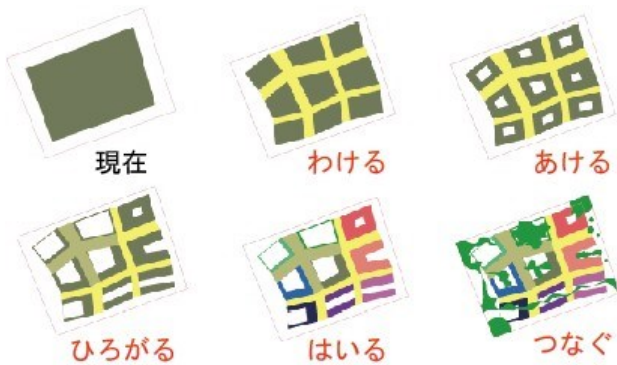


図5 設計プロセスダイアグラム

4.4 配置計画

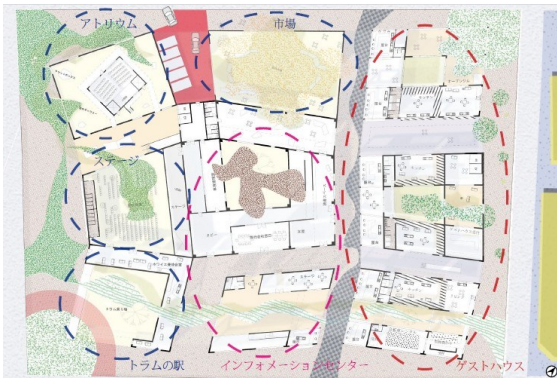


図6 配置図兼一階平面図

4.5 プログラム



図7 パースイメージ

プログラムは以下の通りとなる。右側からゲストハウス、インフォメーションセンター、屋台通り、オープン市場、トラム乗り場などがある。

4.6 立面

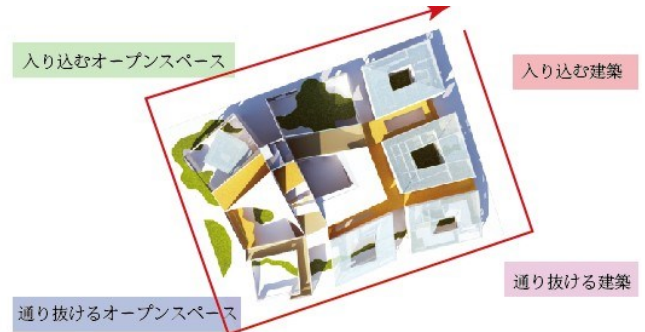


図8 立面変化ダイアグラム



図9 四面立面イメージ

4.7 断面

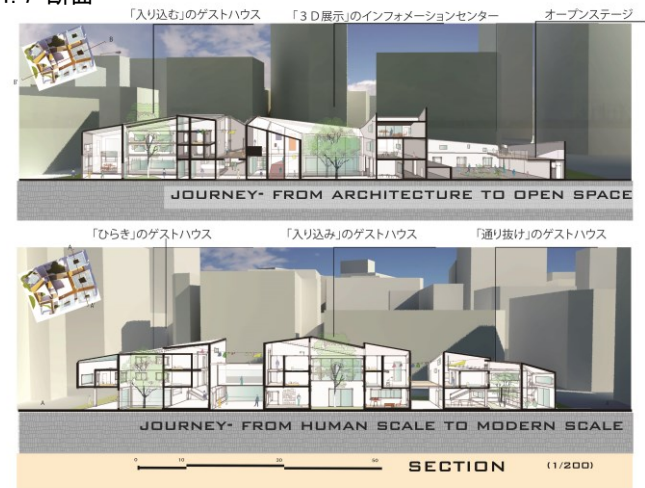


図10 断面図

参考文献

- [1]「新建築(2001.12)」特集2 上海
virtualshanghai; <http://www.virtualshanghai.net/> (2013/01/22)
- [2]「上海新天地」ホームページ
<http://www.xintiandi.com/> (2014/10/22)
- [3]TIANZIFANGホームページ
<http://www.tianzifang.cn/en/home> (2014/10/22)
- [4]Virtual Shanghai Project
<http://www.virtualshanghai.net/> (2014/10/22)